

労災事故 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれが多い

名寄労基7月末労災状況、前年同期比5件減

(2015/8月23日)

名寄労働基準監督署はこのほど、平成27年の1月～7月における労災発生状況(速報値)をまとめた。それによると4日間以上の休業を伴う労災は66件で、前年同期の71件に比べて5件(7・0%)の減。しかし建設業では2件増えており、予断を許さない状況にある。

主要業種別に見ると、製造業は前年同期に比べて3件減ったものの、総数は18件と最も多い。建設業は前年同期より2件増えて15件になった。このほか道路貨物運送業は3件(前年同期比1件減)、林業は4件(同3件減)などとなっている。

事故の型別では従来どおり転倒(13件)、墜落・転落(12件)、はさまれ・巻き込まれ(11件)の3種類が多く、基本的な安全対策の徹底により防止できた事故も多いと見られる。このほか交通事故(道路上)が6件、飛来・落下が4件だった。

北海道労働局・労働基準監督署は6月17日から8月31日までを取組期間として「建設工事死亡災害根絶運動」を展開しているところ。夏場における注意点として、熱中症の予防にも配慮するよう呼びかけている。

北海道の交通死亡事故、正面衝突が全国の3倍を超える

スピード出したまま⇒居眠り⇒はみ出し⇒衝突

北海道の平均スピードは、全国ワースト1位

居眠りで対向車線にはみ出すと、即死するケースが多い

だから・・・2時間ごとに、15分休憩！

■居眠り運転を予防するために

□体を動かす(休憩時)

ストレッチなどで筋肉を動かすと、体の血液の循環が良くなります。それが脳の血液量を増やし、脳細胞を活性化します。

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い

3大多発事故 ⇒ ①追突 ②交差点出合い頭 ③交差点右左折時

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」

- 子供の飛び出しに要注意！
- “うっかり・ぼんやり”による交通事故を防止しましょう
- “スピードダウン”で安全運転

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

“信号待ち車”に“追突” ひき逃げ容疑で男逮捕 無免許運転

2015年8月24日(月)13時18分

警察は23日自動車運転処罰法違反(過失致傷、無免許)とひき逃げる疑いで除染作業員の男性容疑者(65)を逮捕した。逮捕容疑は6日午後7時30分ごろ、福島県の市道で乗用車を無免許運転し、信号待ちしていた看護師女性(32)の乗用車に追突、さらに女性の車を会社員男性(59)の軽乗用車に衝突させて2人にけがを負わせ、そのまま逃走した疑い。

“仕事失う”のが怖くて“逃げた”

3人ひき逃げで会社員逮捕

2015年8月24日 10時18分

神奈川県で、海水浴帰りのグループの列に乗用車が突っ込み、男女3人が死傷したひき逃げ事件で、警察は24日朝、出頭してきた現場近くに住む会社員の男性容疑者(20)を自動車運転死傷行為処罰法違反(過失運転致死傷)と道交法違反(ひき逃げ)の疑いで逮捕した。容疑者は23日午後5時10分頃、乗用車を運転、路肩を一人で歩いて12人のうち男女3人をはねて死傷させ、逃走した疑い。大学生(23)が頭などを打ち死亡、無職の女性(27)は頭などを打ち重体で、無職男性(32)も重傷を負った。グループは近くの海水浴場から駐車場へ移動中だった。調べに対し、容疑者は「友人男性3人を乗せ、海水浴場から別の海水浴場へ移動中だった。逮捕されて仕事を失うのが怖くて逃げた」と供述しているという。

トンネル内で、トラックとワンボックス衝突で1人死亡 3台絡む事故

2015年8月24日(月)

24日午前2時35分ごろ、長野県の国道のトンネル内で、トラックと、対向してきたワンボックス車が衝突した。ワンボックス車は、さらにトラックの後続のトラックにも衝突。ワンボックス車に乗っていた、警備会社社員の男性(25)が脳挫傷のため死亡した。警察によると、ワンボックス車に乗っていた、同社社員の男性(25)が足の骨を折る重傷。最初に衝突したトラックを運転していた、外装業の男性(78)にけがはなく、後続のトラックを運転していた、運転手の男性(46)は足の打撲などで軽傷とみられる。ワンボックス車は現金輸送用で、同署は2人のどちらが運転していたかや、事故の詳しい原因を調べている。